

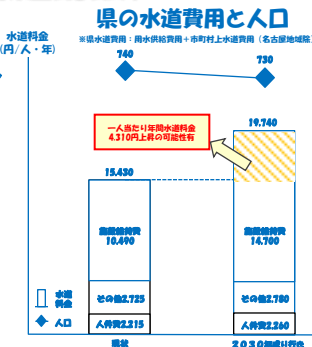


# “水” 愛知から世界へ

グループ名：W'e  
 メンバー：伊佐地咲子、橋本英文、岩間万里明  
 チューター：後藤時政、石神勝博

## 現状の把握（課題認識）

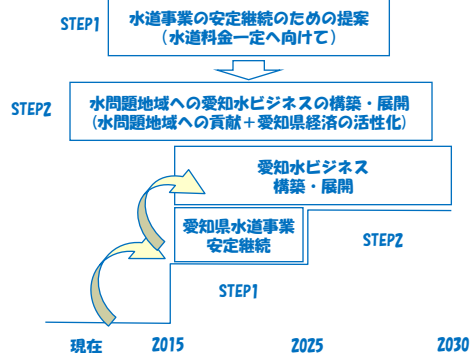
### 安全な水資源を利用できる人口の割合



世界中で11億人が安全な水が飲めず、少なくとも180万人以上は水が原因で死亡。2030年に向けてその数は更に増加。

人口の減少による収益悪化に加え、施設・設備更新費が増加するため、財政悪化により水道料金値上げの可能性

## 2030年に向けての提言の概要



STEP1として愛知県内の水道事業安定化(水道料金一定)のための提案、STEP2として水問題地域への愛知水ビジネスの構築・展開方法を提案

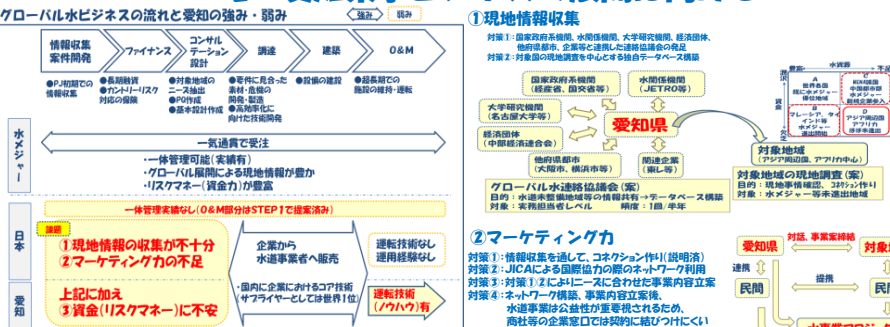
## 提案の内容

### STEP1：愛知県内水道事業安定化に向けて



上水道の一体管理実施による、最適規模の設備導入、最適位置での施設設置を通してコスト削減

### STEP2：愛知県水ビジネスの展開に向けて



## 提案実現のための具体的な取り組み (アクションプラン)と実現可能性

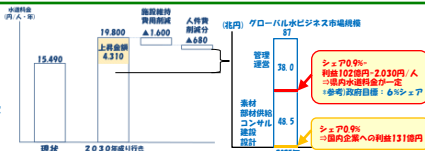
項目	内容	予定				
		'13	'15	'20	'25	'30
一体管理運営	1. モデル地区の選定 2. モデル地区市町村との協議→同意 3. モデル地区における一体管理トライ 4. モデル事例を元に他市町村へ展開 → 一体管理ノウハウの蓄積					
水ビジネス	1. 現地情報収集 → 関係者との調整→連絡協議会実施 → ターゲット地域選定 → 現地調査					
	2. マーケティング実施 → ネットワーク構築→強化 調査結果を元に最適パッケージ検討 → 自治体間による対話→契約検討					
	3. リスクマネー対策 → 国庫協力基金の活用検討 → 関係企業との調整					
	4. モデル地区にて実施 → 現地への人材派遣・運用実施					
	5. 他地域への展開					

一括管理ではモデル地区の選定が重要であり、メリットを明確にする事で実現可能な水ビジネス展開についても対象を明確にし、自治体同士で契約する事で実現可能

愛知県の課題①～③に対してそれぞれ対策を実施する事で一括受注を可能にし、強み (運用技術・ノウハウ) を活かしてグローバル展開実施

## 波及効果

● 経済性  
 ⇒ 水道料金一定を達成見込み  
 +130億円の経済効果



● 環境性  
 ⇒ 約2100万人へ安全・衛生的な生活水の提供が可能 (愛知県ベース試算)

● 社会性  
 ⇒ グローバルでの「愛知県環境」のプレゼンス向上

